令和6年度の研究(または活動)内容

活動１．講演会（8件）

１．田中 陽一郎 (東北大学教授), “垂直磁気記録のイノベーションサイクル,”, 2024 年 5 月 31 日

２．藤原　正樹（大井電気㈱　仙研究開発センター部長より，“IoT 向け無線通信機 適用事例のご紹介,” 2024 年 9 月 27 日.

３．長 敬三（千葉工業大学工学部 情報通信工学科 教授)，“研究開発に求められるもの－移動通信用アンテナの研究開発から学んだこと,” 2024 年 9 月 27 日.

４．日景 隆（北海道大学大学院 情報科学研究院 准教授)，“無線電力に関連する EMC と医療機器 EMI の課題”, 2024 年 9 月 27 日.

５．橋本 雄大(NTT　コミュニケーションズ株式会社), “学校での学びと仕事のつながり，” 2024 年 12 月 20 日.

６．阿部　晋士(株式会社パワーウェーブ 代表取締役社長), “大学発ベンチャーのすゝめ，” 2024 年 12 月 20 日.

７．戸村　崇 (東京科学大学・旧東京工業大学助教), “超小型衛星 OrigamiSat-2 搭載用折り紙展開リフレクトアレーアンテ，”　　2024 年 12 月 20 日.

８．李 寧（東京工科大学助教)，“ワイヤレス給電についての研究紹介，” 2025 年 3 月 3 日.

なお，講演２，３，４は ICT システム研究所と電子情報通信学会東北支部共催した．

活動 2. IEEE Student Branch の設立

工学部　情報通信工学科，工学研究科　電子工学専攻，通信工学専攻の学生で構成される「IEEE Student Branch of TOHTECH」の設立し，メンバーの半分本研究所の活動にも積極的に参加された．

「IEEE Student Branch」とは、世界で最大の電気電子情報分野の学会「IEEE」の学生活動のひとつで,「IEEE Sendai Section」の中では，東北大学，会津大学に次いで 3 番目の設立であり，日本全国の大学では 37 番目の設立となります．その設立により，より多く学生が研究の参加及び院生への進学モチベーションの向上につながる．

活動 3.　3 月 3 日　年度末報告会

下記その報告会のプログラムである。

時間	発表者	所属	題目
9:20 - 9:30	○袁巧微	IoT テクノロジ研究所所長	IoT　テクノロジ研究所活動報告
9:30 - 9:45	○只野陸翔,南部瑛,沼澤敬,丸山次人,中山英久	東北工大電気電子工学科	荷重計測機能付き歩行車による評価指標フィードバック方法の比較検討
9:45 - 10:00	○佐藤和輝，工藤栄亮	東北工大情報通信工学科	スーパーと遊園地における最適経路に関する検討
10:00 - 10:15	○舟山文隆，袁巧微	東北工大情報通信工学科	UWB　技術を用いた位置推定精度
10:15 - 10:30	○門池優樹，近澤勇輝，工藤栄亮	東北工大情報通信工学科	Raspberry Pi　による様々なセンシング情報を用いる屋内位置推定
10:30 - 10:45	○清水澤大輔，袁巧微	東北工大情報通信工学科	IoT　センサの無線給電とデータ処理アプリ
10:45 - 10:50	**休憩**		
10:50 - 11:30	○李寧	東京工科大学	**【特別講演】ワイヤレス給電についての研究紹介**
11:30 - 11:45	○堀江智生，北元	東北工大情報通信工学科	広帯域ログペリオディックアンテナの小型化への挑戦
11:45 - 12:00	○丹治鉄馬，芳賀大起，北元	東北工大情報通信工学科	雷電波における比誘電率の影響と減衰特性の解析
12:00 - 12:15	○松本太智，袁巧微	東北工大情報通信工学科	海水・空気中ダイポールアンテナ間の伝送係数 |S21| の比較
12:15 - 13:15	**休憩**		
13:15 - 14:00	**討論**		